

# あいりん地域まちづくり会議 福利・にぎわい検討会議議事のあらまし (令和4年度)

- 福利・にぎわい検討会議開催概要..... **1**
- 関連するエリアマネジメント協議会での議論について ..... **3**

## 福利・にぎわい検討会議開催概要（令和4年度分）

### 令和4年11月2日〔第9回〕福利・にぎわい検討会議

- ・センター跡地北側に福利機能として新たに設置する4つの機能について

令和3年度に検討した「住民の福利機能」の議論内容について市内部で共有した。今後、その詳細検討とともに、持続的に運営していくための財源を生み出す事業運営の仕組みや、にぎわい機能、防災機能などの検討を進めることを確認した。

- ・あいりん地域に存する市施設の概要について

「ワンストップ相談窓口」機能等に関連して、近隣の福利施設等の連携・集約化に関するご意見を頂いたことから、西成市民館・西成区保健福祉センター分館が有する機能との連携・集約化にかかる概要を説明した。今後は、エリアマネジメント協議会の就労福祉・健康専門部会で詳細を検討していくこととした。

- ・第1回 防災機能、多目的広場に関するワークショップについて

令和3年度に検討した「住民の福利機能」の枠外であった「防災」と「多目的広場」の機能について、ワークショップ方式で意見聴取を行い、今後検討を深めていくこととした。

- ・その他

受託事業者による民間事業者へのヒアリング調査の実施について内容の説明を行った。

## 第4回あいりん総合センター跡地等利用検討プロジェクトチーム会議 会議要旨

- 1 日時 令和4年6月22日（水） 15:00～15:30
- 2 場所 大阪市役所 5階 特別会議室
- 3 出席者 高橋副市長、西成区長、西成区副区長、経済戦略局観光部長、契約管財局管財部長、計画調整局長、福祉局長、健康局総務部長、こども青少年局長、都市整備局長、建設局長
- 4 議題 あいりん総合センター跡地の検討経過及び取組について

### 5 議事要旨

(副市長あいさつ)

- ・前回、2021年3月に会議を開催し「あいりん総合センター跡地等利活用にかかる基本構想」、いわゆる「活用ビジョン」を策定した。
- ・本日は、区画整理手法を用いて市有地を集約する北側の福利・にぎわいゾーンについて、昨年度、各局が連携、協力して検討を進めてきた成果の確認と今年度の取組について意見交換を行いたい。

(事務局説明)

- ・活用ビジョンでは、土地利用、機能配置イメージとして、福利・にぎわいゾーンと労働ゾーンを設けることとしている。
- ・福利・にぎわいゾーンの実現に向けて、令和3年度は、住民の福利機能から先行し検討を行ってきた。令和4年度は、住民の福利機能の詳細検討とともに、持続的に運営していくための財源を生み出す事業運営の仕組みや、にぎわい機能や防災機能などについても検討を進めることとする。
- ・昨年度、地域と確認した福利機能の実現と、センター跡地北側の具体的な土地の利活用については、関係局と連携し、調整を進めていく。
- ・地域との対話については、引き続き、福利・にぎわい検討会議等において、地域との理解を深めていく。

(意見等)

- ・「にぎわいの創出」の検討については、実現に向けて各局が連携し、しっかりとそれぞれの専門性を充分活かしながら進める必要がある。
- ・地域からの意見を尊重する「ボトムアップ方式」によるまちづくりを進めるとともに、区と各局が連携を密にしながらこのビジョンの実現に向けて取り組む必要がある。
- ・検討内容の更新や市場調査にあたっては、適切な時期に実施するとともに、今後、事業スケジュールの見直しの時期について、府市においてしっかりと検討すべきである。

## 関連するエリアマネジメント協議会での議論について（令和4年度分）

### 令和4年11月21日 令和4年度第1回就労福祉・健康専門部会※を開催（※ 就労福祉専門部会と改称済）

- ・ 令和4年11月2日〔第9回〕福利・にぎわい検討会議の議論を受けて、地域から意見が出されている「ワンストップ相談窓口」に関する議論を行った。
  - 上記の「ワンストップ相談窓口」について、①：労働施設におけるワンストップ相談窓口（就労と困窮者支援等）と、②：新たな福祉相談窓口（各種福祉支援等）に切り分けて検討を進めていくこととした。
  - 具体的な内容の検討を進めていくためには、実務に即した詳細な議論を要することから、就労福祉専門部会のもとに「ワンストップ相談窓口等ワーキンググループ」を設けて、実務に携わる地域メンバーを中心に議論を進めていくこととした。

### 令和5年3月17日 第1回ワンストップ相談窓口等ワーキンググループを開催

- ・ 地域メンバーにこれまでの「福利・にぎわい検討会議」や「就労福祉専門部会」での議論の経過説明を行うとともに、ワンストップ相談窓口等に関する具体的な検討を開始した。
  - ①：労働施設におけるワンストップ相談窓口（就労と困窮者支援等）と、②：新たな福祉相談窓口（各種福祉支援等）について、各メンバーが想定する窓口の利用者像、規模（利用人数）や、窓口で行うべき支援の内容などに関する意見出しを行った。
  - ワンストップ相談窓口等の具体化に向けて、引き続き、検討を進めていくこととした。